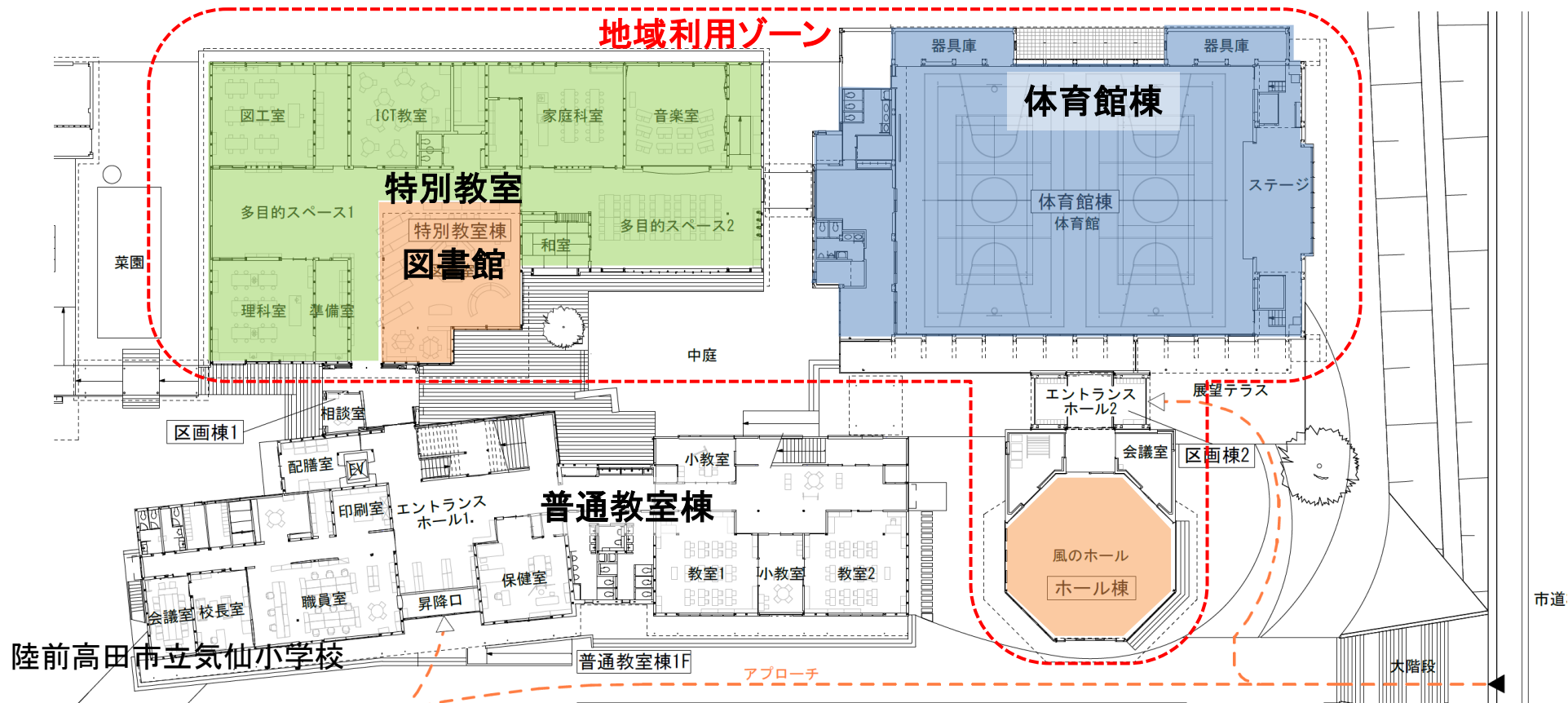
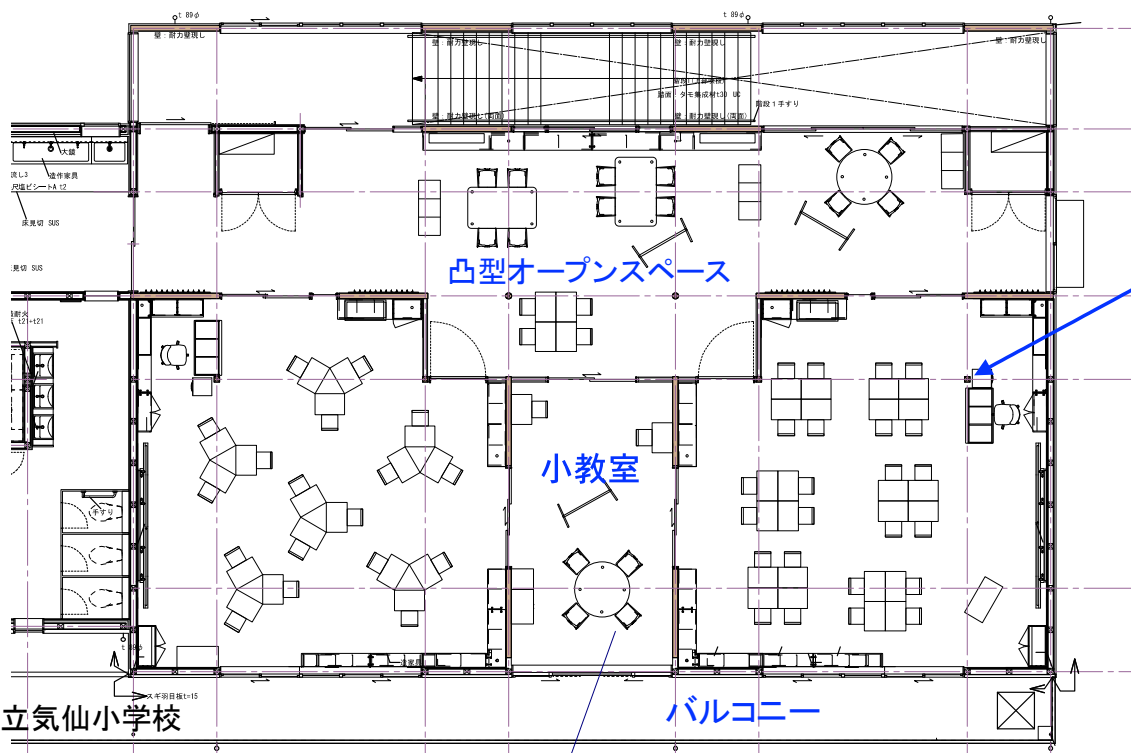
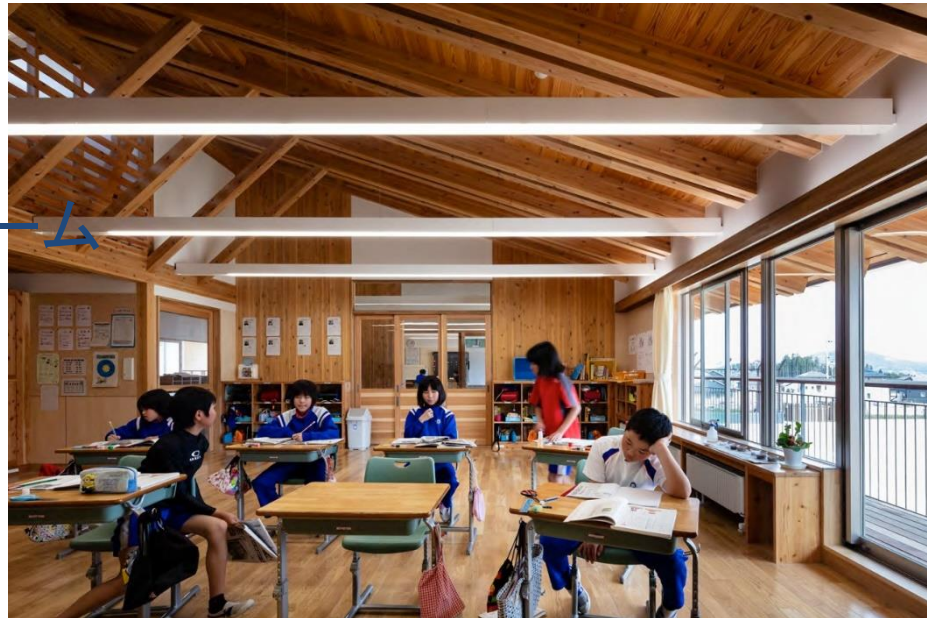




地域利用ゾーン



木のクラスルーム



カフェトリウム：多目的スペース＋音楽室

保護者・地域住民の活動場所に



地域の伝統芸能を継承する「風のホール」

地域の伝統芸能「暴れ太鼓」

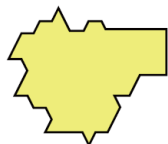


陸前高田市立気仙小学校

保護者の清掃活動



温故創新/学校らしくない学校 〈東日本大震災からの学校復興〉 —大熊町立学び舎ゆめの森義務教育学校—



学び舎 ゆめの森
Manabiya Yumenomori

2023 年春 大熊町に
0 歳から 15 歳までの子どもたちが学ぶ
学び舎ゆめの森が開校します。

1

三角フレームの組み合わせで
生まれる自由で安全な空間

三角形の鉄骨のフレームを組み合わせること
で、地震に強く、なおかつ裏表がなく広がる
変化に富んだ自由な形状の建物を作ります。
人々を迎え入れるように切り込まれた入口や
囲まれた中庭、一体感のある奥行き深い庇
の下のテラスなど、室内・半屋外・屋外とつ
ながるのびのびとした環境が生まれます。

2

図書ひろばを中心とした
混在と多様性が共にある場所

本の町大熊の学校にふさわしく、建物の中心に
は吹抜の大きな開放的な図書ひろばを設けま
す。この図書ひろばを囲むように、幼児、小学
生、職員室、体育館、パレット（特別教室）を放射
状に配置しながら興味に繋いでいくことで、0
歳から 15 歳の子供たちの活動が混じり合い、
好奇心を刺激する多様な学びの場が広がります。

3

地域と共にシェアする
0 歳から 100 歳までの学び舎

北側の住宅地側には体育館や音楽室、家庭科室、
創作工房などを集めたパレットと呼ばれる特別
教室ゾーンを設け、図書ひろばと合わせて地域
の方々にも利用可能な計画とします。子供たち
だけではなく、地域の方たちにも開かれた町の
交流拠点として、0 歳から 100 歳までの学び
舎となることを目指します。

4

遊びながら学ぶ。
学びながら遊ぶ。

図書ひろばには大きなすり鉢型の本棚でできた
遊具や、座り込んで本を読める場所、園庭と立
体的につながり回遊できる 2 階の屋上広場など、
屋内から屋外まで広がる遊びながら学ぶ、学び
ながら遊ぶ様々な仕掛けがあります。自分の机
に座ってじっと頭の中で思考するだけではなく、
日常的に自分の身体と、好奇心を刺激する様々
な仕掛けを思い切り使って、頭の外で考えられ
る環境を作ります。

5

バラバラでいい。
バラバラがいい。

ゆめの森の教室には同じ大きさの部屋は一つも
ありません。みんなバラバラ。形も四角形では
ありません。隣の部屋とくっつけて使ったり、
静かで落ちついた場所を作ることも可能です。
皆一斉に黒板のほうを向いて聞く授業ではなく、
ひとりひとりが愛着を持てる好きな場所で、じっ
くりと興味を追求できる環境を作ります。

6

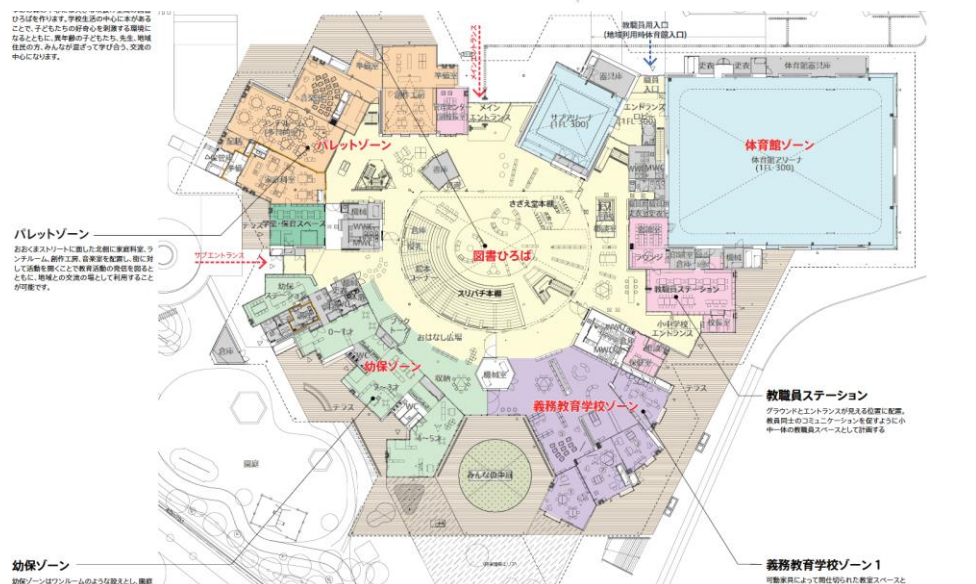
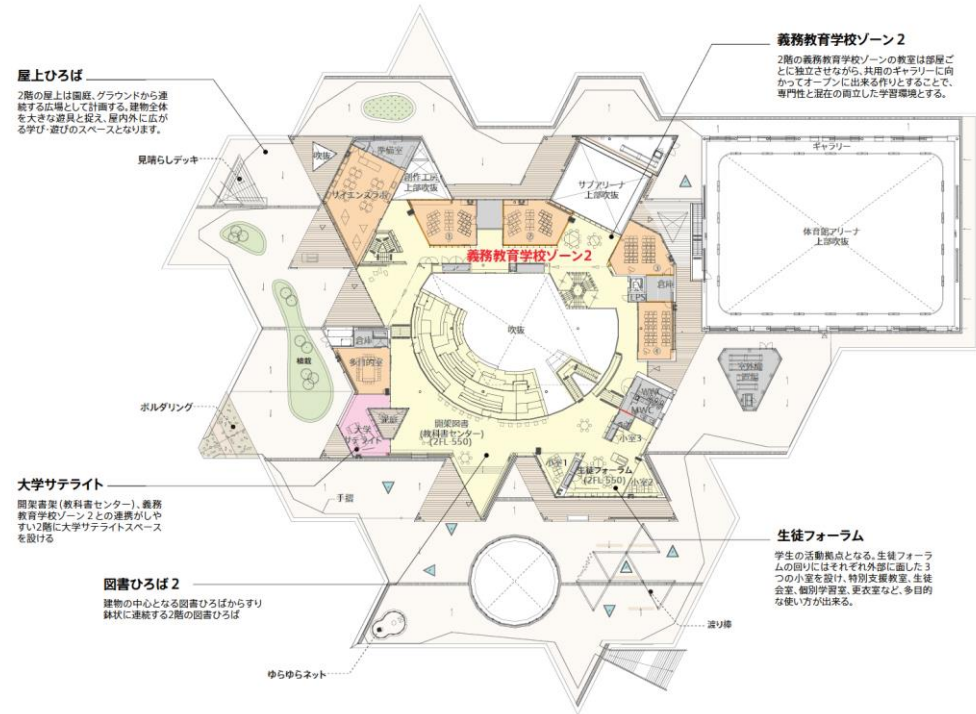
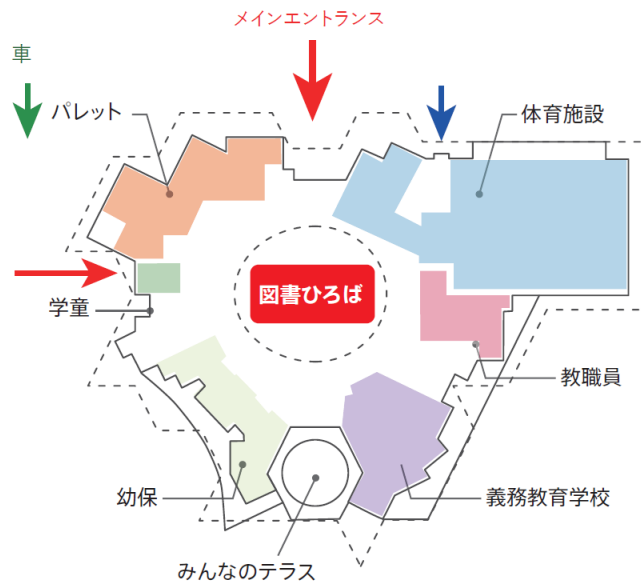
大熊町の新しいシンボル

ウェディングケーキのように 3 層に積み重
なったどこにもない、学校らしくない外観の
建物は常磐道からもよく見えます。大熊町の
未来を切り拓く新しい町のシンボルとして、
一目見ただけでも忘れない、人々の記憶に残
るような建物を目指します。

今までにない新しい学びの場



地域みんなの学校にしたい



四角い空間からの脱却



見たことのない学校空間











—安平町立早来学園義務教育学校—

ススランの丘

